

租税訴訟学会理事会 議事録

日 時： 平成 29 年 01 月 18 日（水） 19 時 00 分～20 時 00 分
場 所： 弁護士会館 10 階 1007 会議室
参加者： 秋葉武、朝倉洋子、大塚正民、金子友裕、菅野浅雄、田口渉、
長島弘、守田啓一、山本守之、山下清兵衛、脇谷英夫

敬称略

議 事： 1. 各部会・支部活動報告
2. 紀要 10 号について
3. 争訟部会副会長の選任について
4. 志賀記念出版（『法的紛争処理の税務』改訂版）について
5. 専門研究会について
7. 常任理事会について

1 各部会・支部活動報告

(1) 研究提言部会報告【別紙 1】

・第 52 回研究報告会について

日 程：4 月（予定）

場 所：東京税理士会大会議室

講 師：多田 雄司 氏（予定）

テーマ：未定

2 紀要第 10 号について【別紙 2】

(1) 募集状況について

【別紙 A】の通りである。

掲載の順序については、編集委員会で決定し、2 月の理事会で最終確定を行う。

(2) 来号以降の論文締切日について

12 月及び 1 月は、入試や試験の関係で大学関係者が原稿を提出しづらいため、8 月、9 月頃に募集をかけて 11 月を締切にする案が出た。

3 争訟部会副会長の選任について

基本的な組織固めのため、副会長は、それぞれの母体から選出し、数を増やしてはどうかと考える。また、副会長、専務理事、常任理事など役職を増やし、各支部から人選をしたい。次回の理事会で具体的な提案を行いたい。

（参考案）

日弁連税制委員会
東京弁護士会
第一東京弁護士会
第二東京弁護士会
東京税理士会各支部
日本税務会計学会
守之会
東京地方税理士会
行政訴訟学会
千葉税理士会

4 志賀記念出版（『法的紛争処理の税務』改訂版）について

殆ど原稿は集まっているが国際課税だけ遅れている。

今年の3月に出版を目指している。

志賀先生を偲ぶ会を兼ねて、出版記念パーティーを開催したいと考えている（山下清兵衛理事）。偲ぶ会は牛嶋先生を中心に行う。

5 専門研究会について

学会の活性化のために電子会議室などを設定し、それぞれ個別の研究会を行い、専門性を高めたい。また、研究会の責任者を決め、個別に判例研究会を開催して欲しい。そこで議論したものは出版を考える。

6 常任理事会について

常任理事会の体制に変更する案が出された。規約の変更を含め、次回理事会で話し合う。

次回理事会は、平成29年2月17日（金）19時00分～、マリタックス法律事務所
次回議題：部会報告など

議事に対するご提案等は、下記総務企画部（Email / FAX）までお願い申し上げます。

租税訴訟学会総務企画部

FAX: 03-3586-3602

Email: info@sozei-soshou.jp

<http://sozei-soshou.jp/>

租税訴訟学会 研究提言部会 議事録（平成29年1月18日）

作成：田口 渉

平成29年1月18日、午後6時より、弁護士会館1007号室において、下記のとおり、租税訴訟学会研究提言部会が行われた。

第一 出席者

山本守之、朝倉洋子、秋葉武、金子友裕、守田啓一、田口渉

第二 議事内容

1. 第52回研究報告会について

第52回研究報告会は、下記の内容で予定しております。

- (1) 日時：平成29年4月7日（金）18:00～20:30
- (2) 会場：東京税理士会会館大会議室
- (3) 研究発表テーマ：未定
- (4) 発表者：税理士 多田 雄司 氏
- (5) 分担（敬称略）

当日の分担については、次のように予定しております。

- ①司会 田口
- ②あいさつ 山田会長。
- ③受付・入会申込 研究提言部門会員・村澤社労士。
- ④案内
 - ・学会会員 総務部会
 - ・弁護士会 東京三会を牛嶋、菅原。二弁税法研究会を山下副会長。
 - ・税理士会 下記のとおり分担する。
 - ・日本税務会計学会並びに東京税理士会広報を東京税理士会事務局。
 - ・全国女性税理士連盟研究部 朝倉

2. その他

総務企画部

1. 研究会・支部報告

(1) 開催予定

[第52回研究報告会]

日 程：4月（予定）

場 所：未定

講 師：未定

2. 争訟部会副会長選任について

青木康國副会長の後任を理事会にて選任する。

副会長は、それぞれの母体から選出し、数を増やしてはどうかと考える。また、副会長専務理事、常任理事など役職を増やし、各支部から人選をしたい。

(参考案)

日弁連税制委員会

東京弁護士会

第一東京弁護士会

第二東京弁護士会税法研究会

東京税理士会

日本税務会計学会

守之会

東京地方税理士会

行政訴訟学会

東京税理士会各支部

3. 理事について

名前だけの理事が非常に多いので、常任理事会の体制に変更する案が前回の理事会で出された。理事会の出席率を上げるための工夫が必要である。

また、理事に関連して、支部活動についても、支部によって偏りがあるため、送金の割合を変更する案が出されている。

4. 志賀記念出版（『法的紛争処理の税務』改訂版）について

分野ごと別々に進行しており、民事と家事は、一弁の税務部会メンバーを中心に進行している。国際課税は、永田理絵先生に全面的にご協力をお願いしている。また、新たに、会社法を長島弘先生、倒産分野を永石一郎先生をお願いしている。

青木康國先生は、編集には関わらないが、過去担当分について修正の必要がある部分のみ加筆していただく。

来年の3月に出版を目指している。

志賀先生を偲ぶ会を兼ねて、出版記念パーティーを開催したい。

5. 紀要第10号について

(1) 発行日

山田二郎先生から、「紀要の出版について（毎年刊行を継続すること）、刊行予定日と内容を確定して下さい。」との連絡があった。発行日・内容について確定させたい。

(2) 執筆状況

応募の申込みは現時点で18名。現在集まっている原稿は【別紙A】の通りである。

